

本格架橋時代における都市政策

『グレーター高松』構想の提唱

—県都50万都市を目指して—

平成3年1月

香川経済同友会

はじめに

香川の県都・高松市では、現在、港頭地区の再開発や旧空港跡地の再開発など、21世紀に向けての大型プロジェクトが、着々と進行しつつある。これらのプロジェクトは、ただ単に県都・高松市だけの繁栄を志向しているものではなく、広く香川県全域の活力と福祉の向上を目指しているものである。

しかし、これらの大型プロジェクトをはじめとする21世紀への取り組みが最大限に効果を発揮するために、現状で不足する部分がないのであろうか。例えば、行政面に注目すれば、高松市の場合、その行政人口が県都としては全国43県中34番目と下位に位置づけられ、首都圏や関西圏に対してリーディングシティとしての存在を訴える力が決定的に弱いと言わざるを得ない。そこで香川全域の活性化を図るためには、高松市の盛衰が大きく影響するのであるが、今後とも、高松市が四国全体のリーディングシティであり続けるためには、その都市規模の小さいことが決定的に重要な障害要因となってくるであろう。

香川県人口の伸び悩みに加えて、香川県外への人口の流出や、他地域を上回る高齢化の進展などにより、当該地域の活力低下が非常に懸念される現在、これはゆゆしき問題である。一方、現実の高松の都市圏域に目を転じれば、その経済圏や日常生活圏は、行政圏域の枠を越えて著しく拡大しており、したがって、その行政圏域が県都・高松市の実態を正しく表現しているとは言い難いのである。

このような現況を踏まえて、将来の高松市を中心とする都市機能整備のあり方を考えると、四国の拠点都市として本格架橋時代における岡山

や神戸などとの密接な連携を図り、しかも相互の密接な交流を深めていくためには、少なくとも人口50万人程度の都市として、高次都市機能の強化を継続して図る必要があるものと思われる。換言すれば、現実の広域的な経済圏や日常生活圏を前提とした新都市構想に直ちに着手すべきである。

かかる問題意識に基づいて、香川経済同友会としては、本格架橋時代における都市政策『グレーター高松』構想―県都50万都市を目指して―を、ここに提唱するものである。この構想の具体的内容は、高松市とその周辺都市および新高松空港の周辺地域を含む丘陵地域までをグレーター高松圏として設定し、その一体的な都市開発を促進するとともに、四国最大のリーディングシティとしての総合的な中枢管理機能を強化するとともに、より充実した都市的な生活魅力や快適環境の創造に努め、当該圏域における定住人口の拡大を図ろうとするものである。

この『グレーター高松』構想の提唱が、広く地域住民の共感を呼び、市民意識の高揚につながり、ひいては合併論議を含めた熱い論議が誠意をもって行われるように期待している。

当同友会としては、今後とも機により折にふれ、このような提言活動を継続して行っていく所存であり、その鎗矢ともいべき本提言は、そのための基本的な指針を提供するものである。

平成3年1月

香川経済同友会

代表幹事 多田野 康雄

代表幹事 丸 山 修

広域行政
特別委員長 児 島 和 希

目 次

はじめに

- 1) グレーター高松構想の提唱…………… 1 頁
- 2) グレーター高松構想の背景…………… 2 頁
- 3) グレーター高松構想の理念…………… 3 頁
- 4) グレーター高松構想の提言…………… 4 頁

提言 [1] 都市の動的な変化を踏まえた意識の転換を試みよう。

提言 [2] 都市間競争に打ち勝つための強い都市づくりを志向しよう。

提言 [3] 広域行政のあり方を見直し、積極的な施設整備に努めよう。

提言 [4] 運動を継続させるために、都市問題の研究組織を創ろう。

提言 [5] グレーター高松構想の便益を広く香川全域に浸透させよう。

あとがき…………… 6 頁

参考資料…………… 8 頁

1) グレーター高松構想の提唱

四国は、いま、大きな交通変革の時期を迎えている。本州四国連絡橋の児島～坂出ルート（いわゆる「瀬戸大橋」）が、昭和63年4月に開通したことに加えて、中四国では最大規模を誇る新高松空港も、平成元年12月には開港した。さらに、後10年ほどの間には、四国縦貫自動車道と四国横断自動車道の二つの高速道路の大半と、四国にある4県都をそれぞれ2時間以内で結ぶ路線間開通の可能性もきわめて高い。

これらの高速道路と、平成10年には完成予定の本州四国連絡橋のうち明石海峡大橋を含む神戸～鳴門ルートに加えて、尾道～今治ルートが有機的に接続されると、四国は文字どおり「島国」から脱却されることになる。僅か10年という短期間のうちに経済的環境がこれほど劇的に変化する地域は他に例をみないであろう。

このような高速交通基盤の整備が今後一層進展することに伴い、産業立地条件の大幅な改善や、生活利便性の向上などが図られる反面、これまで以上に都市間競争や地域間競争の激化が新たに誘発されることになってくる。したがって、これから迎える本格架橋時代に備えて、きわめて重要な政策課題は、それぞれの地域の社会経済的な位置づけとその担うべき役割を可能な限り明確にしておくことである。すなわち、当該地域住民の生活と生産活動が快適にしかも円滑に行われるための条件を十分に整備することである。

そのなかでも決定的に重要な意味をもつ香川の県都・高松に注目し、その都市機能の強化に努めるとともに、その周辺地域との連携をさらに一層深めることにより、名実ともに魅力ある広域的な都市（すなわち、『グレーター高松』）を形成するための構想を、ここに提唱するものである。

2) グレーター高松構想の背景

この構想を提唱するに至った時代的な背景として、当該地域社会の大きな変化の流れがあるが、そのなかでもとくに重要な変化の諸要因として、少なくともつぎの3点を指摘することができる。

まず、その第1点は、当該地域社会の人口が伸び悩み、しかも若年層の域外流出が続く一方で、高齢化が急速に進展していることから、地域経済の活力低下が大いに懸念されることである。

つぎに、第2点として、卸売機能を中心とする四国の中枢管理都市として重要な役割を果たしてきた高松の都市機能に変化がみられ、しかもその実質的な都市圏域や影響力の大きさに相応しいだけの都市の魅力が十分に発揮されていないことが憂慮されることである。

さらに、第3点として、人口の都市部への集中と都市的な生活様式の広域的な波及という都市化の傾向が行政的な境界を越えて現在なお広く進行している状況のなかで、高松の行政圏域としての都市規模があまりにも小さいことが、当該地域の成長にとって大きな障害要因となってきたことが指摘されることである。

したがって、このような都市の動的な変化に注目し、その経年的な過程より生じた複雑で多様な都市問題を着実に解決していくための有効な都市政策を可及的速やかに実施する必要があるといえよう。そして、かかる時代の潮流に的確に対応しつつ、高速交通基盤の整備効果を最大限に発揮させ、その便益を広く郷土香川の全域に及ぼしていくことが、これからの都市政策の最も重要な課題となっているのである。

3) グレーター高松構想の理念

都市は生き物であり、そこに住む人々の欲望や人間活動のすべてが、そこに投影されている。しかし、とくに注意を払う必要があるのは、既存の市域や町域だけにその考察の対象を限定してはならないということである。なぜなら、人口の都市部への集中と都市的な生活様式の広域的な波及を示す「都市化」の傾向は、その行政的な境界を越えて、現在なお広く進行しているからである。したがって、当該地域住民の生活と生産活動が実際に行われている実態としての都市圏域に注目し、より広域的な視点からその条件整備を着実に図っていくことが、一層強く求められているのである。

そこで、まず香川の県都である高松市とその周辺都市および新高松空港の周辺地域を含む丘陵地域までの内陸部を『グレーター高松』の新たな圏域として設定して、つねにその一体的な都市開発を展開するとともに、名実ともにその大都市圏域としてのより充実した快適環境の創造に努める必要がある。

また、その具体的な行政施策としては、高松港頭地区の整備計画をはじめ、新宇多津都市の建設や、旧高松空港跡地の利用計画などのような各地域ごとの都市再開発のプロジェクトをそれぞれ独立した個別の施策として推進するのではなく、この『グレーター高松』構想という総合的なフレームワークのなかで明確に位置づけ、しかもその相互の調整と連携を図りながら、つねに広域的な視点からその計画の実行に努めることが考えられる。さらにまた、内陸部の丘陵地域にあっては、職住近接のライフスタイルを想定した産業と居住の複合機能を備えた都市開発を試み、当該圏域における定住人口の拡大に努めることも考えられる。

4) グレーター高松構想の提言

複雑で多様な都市問題を解決し、望ましい「まちづくり」を行うためには、当該地域住民の先見性と熱意に加えて、関係自治体の議会と行政当局による強力な都市政策の展開が必要である。そこで、この『グレーター高松』構想の提唱が、広く地域住民の共感を呼び、これからの都市政策について造詣の深い市民意識の高揚にもつながり、ひいては合併論議を含めた熱い論議が誠意をもって展開されるようになることを大いに期待して、ここに5つの提言を行うことにする。

提言〔1〕 都市の動的な変化を踏まえた意識の転換を試みよう。

- ①変貌を遂げる香川の県都「高松」の実態を正確に理解すること。
- ②行政的な境界に拘泥するこれまでの閉鎖的な発想を改めること。
- ③都市を動的に捉え、長期的な視点に基づく都市整備を行うこと。

提言〔2〕 都市間競争に打ち勝つための強い都市づくりを志向しよう。

- ①本格架橋時代における都市間競争について理解を深めること。
- ②若年層の定着を図ることに加えて、常住人口の増加に努めること。
- ③魅力ある就業機会の確保と快適環境の整備充実に関心を持つこと。

提言〔3〕 広域行政のあり方を見直し、積極的な施設整備に努めよう。

- ①迷惑施設中心であったこれまでの広域行政を積極的に拡大すること。
- ②秩序ある土地の有効利用を図り、都市計画区域の見直しを図ること。
- ③各市町が相互独立に所有している公共施設を互いに融通し合うこと。

提言〔4〕運動を継続させるために、都市問題の研究組織を創ろう。

- ①高松市が中心となり合併問題についての検討委員会を設置すること。
- ②住民と議会と行政によるグレーター構想の協議会を設置すること。
- ③グレーター構想の機運を高めるための継続した事業を展開すること。

提言〔5〕グレーター高松構想の便益を広く香川全域に浸透させよう。

- ①グレーター構想の機運を高めるための支援措置を強化すること。
- ②香川県内の全域に貢献できるこの構想の具体化作業を進めること。
- ③地域の産・官・学の協力による都市政策の検討と評価を行うこと。

あとかき

香川経済同友会としては、その発足当初から、都市政策の重要性を認識するとともに、今後の提言活動の基礎となる本提言の理論的な彫琢を鋭意、取り行ってきた。参考までに、その主たる活動の記録を記すと、つぎのとおりである。

- 1) 平成2年2月7日：第1回都市問題委員会・広域行政特別委員会の合同会議を開催し、問題提起と質疑応答を行った。
- 2) 平成2年4月4日：第2回広域行政特別委員会を開催し、グレーター高松構想と広域行政についての意見の交換を行った。
- 3) 平成2年6月19日：第1回広域行政特別委員会小委員会を開催し、提言に向けての具体的活動について話し合った。
- 4) 平成2年7月24日～25日：熊本へ視察団を派遣し、熊本市と日本経済新聞社熊本支局を訪問し、意見の交換を行った。
- 5) 平成2年8月2～3日：仙台へ視察団を派遣し、仙台市と日本経済新聞社仙台支局を訪問し、意見の交換を行った。また、仙台経済同友会との懇談会を開催した。
- 6) 平成2年9月6日：第2回広域行政特別委員会小委員会を開催し、提言に向けての具体的活動について話し合った。
- 7) 平成2年9月21日：第3回広域行政特別委員会を開催し、提言に

向けての具体的活動について話し合った。

8) 平成2年11月30日：第3回広域行政特別委員会小委員会を開催し、提言(素案)の検討を行った。

9) 平成2年12月21日：第4回広域行政特別委員会を開催し、提言(素案)について、意見の交換を行った。

本提言を取り纏めるに当たり、関係各位から、ひとかたならぬご協力とご尽力を頂くことができた。特に本会の特別会員である香川大学教授井原健雄氏並びに同氏主宰の香川大学地域政策研究会には格別のご指導ご協力を賜わった。ここに記して、謝意を表したい。

本提言が、高松を県都とする郷土香川の将来のあり方を考える上で、些かなりとも資するところがあれば幸甚である。

－ 以 上 －

参 考 資 料

- 1) 香川県内 5 市38町の主要指標……………10頁
- 2) 香川県内主要 3 市の人口数の変化と人口増減率の推移……………12頁
- 3) 高松市への市町別就業者人口流出比率……………13頁
- 4) 四国の交通基盤整備の概要……………14頁
- 5) 四国および中国地方における都市規模の比較……………15頁
- 6) 香川県内における主要な都市開発のプロジェクト……………17頁
- 7) 香川経済同友会「広域行政特別委員会」の委員名簿……………18頁

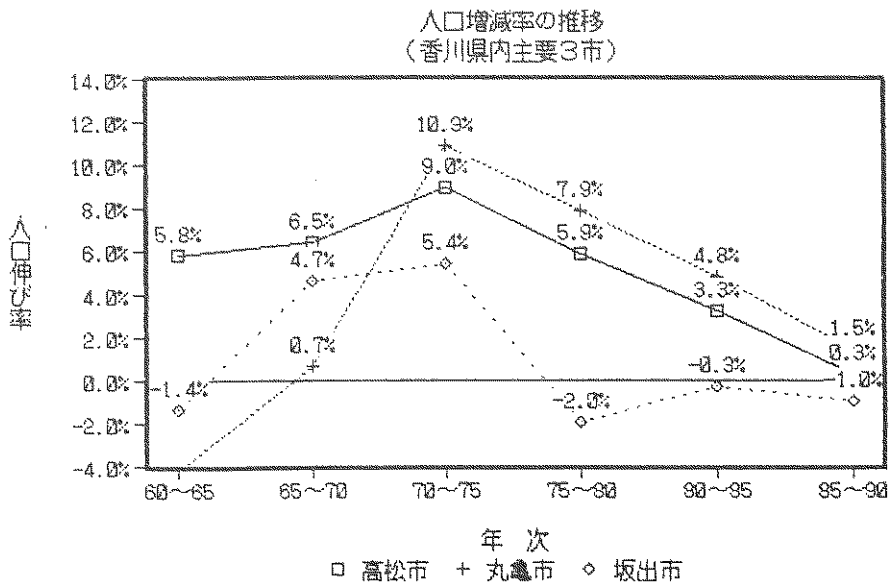
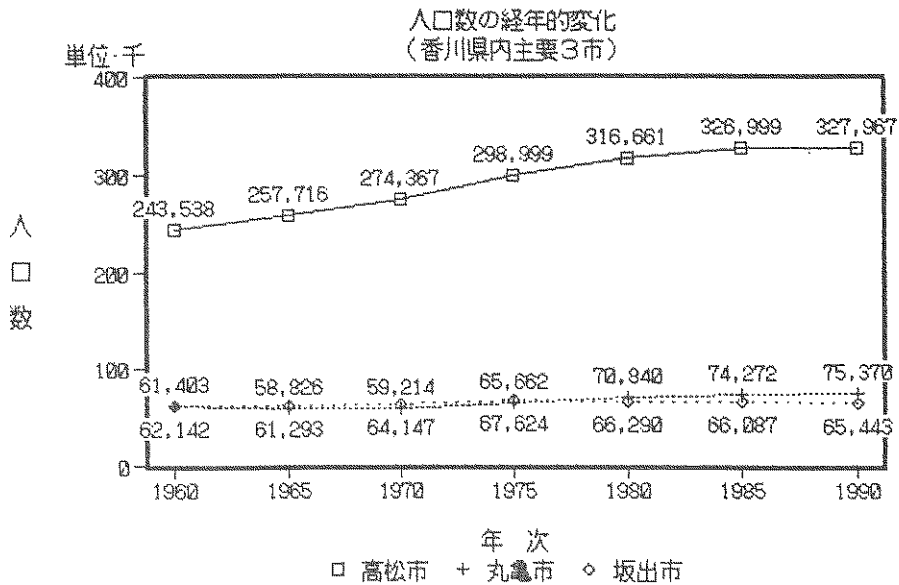
1) 香川県内5市38町の主要指標 (その1)

番号	地域	面積 (60国調) (Km ²)	民有地 (H.1) (千m ²)	畑 (H.1) (千m ²)	宅地 (H.1) (千m ²)	人口数 (H.1) (人)	世帯数 (H.1) (人)	年少人口 (H.1) (人)	生産年齢人口 (H.1) (人)	老年人口 (H.1) (人)	人口密度 (H.1) (人/Km ²)	人口増減率 (H.1) (%)	社会増減率 (H.1) (%)	自然増減率 (H.1) (%)
1	高松市	194.94	137,505	70,223	32,007	330,403	112,394	64,151	226,554	39,585	1,702.8	1.4	-2.8	4.1
2	丸亀市	65.33	47,643	18,093	11,018	75,390	24,258	14,307	50,116	10,966	1,167.8	1.1	-0.3	1.4
3	坂出市	93.19	70,685	23,571	13,642	65,138	20,772	11,549	43,201	10,356	705.9	-2.6	-2.7	0.1
4	善通寺市	39.68	25,919	14,935	4,359	38,945	12,455	6,820	26,556	5,569	976.6	3.4	0.5	3.0
5	観音寺市	51.74	30,856	17,993	5,894	45,959	13,517	8,726	29,831	7,402	936.4	0.7	-1.7	2.5
6	引田町	48.10	20,470	5,514	1,510	10,142	3,018	1,579	6,829	1,734	210.5	-11.8	-10.8	-1.0
7	白鳥町	72.14	33,574	8,398	2,481	13,976	4,081	2,397	9,274	2,305	198.0	-3.9	-2.6	-1.2
8	大内町	34.49	23,125	8,574	2,681	17,403	5,309	3,024	11,749	2,628	505.8	-4.4	-3.6	-0.9
9	津田町	13.45	10,307	2,622	1,283	9,190	2,707	1,519	6,121	1,550	671.8	-7.5	-7.2	-0.3
10	大川町	34.83	20,531	7,399	1,262	7,716	1,971	1,339	4,951	1,426	223.3	-7.5	-4.7	-2.9
11	志度町	39.54	29,915	10,736	3,355	21,419	6,393	3,785	14,441	3,193	535.9	8.3	6.2	2.1
12	寒川町	22.99	14,513	5,912	986	6,155	1,519	1,017	3,869	1,269	266.3	3.6	6.5	-2.9
13	長尾町	45.88	34,198	10,907	2,153	12,915	3,549	2,313	8,515	2,087	272.5	3.3	3.6	-0.4
14	内海町	61.72	36,822	4,732	2,100	14,450	4,751	2,518	9,059	2,873	234.9	-10.6	-8.3	-2.3
15	土庄町	74.62	48,018	11,552	2,883	20,303	6,920	3,867	12,433	4,003	273.4	-11.6	-10.1	-1.5
16	池田町	34.48	23,341	5,407	963	6,371	2,040	1,043	3,917	1,411	187.0	-8.8	-5.2	-3.6
17	三木町	77.08	53,173	20,312	3,298	26,822	7,999	5,017	17,656	4,149	353.9	7.9	7.8	0.0
18	牟礼町	16.55	10,235	3,964	1,834	17,408	5,151	3,643	11,845	1,920	1,058.2	-2.3	-7.4	5.1
19	庵治町	15.41	10,008	2,573	1,031	7,605	2,112	1,305	5,044	1,256	480.7	-10.7	-10.8	0.1
20	塩江町	80.10	37,398	4,895	663	4,068	1,238	560	2,585	921	50.8	-10.3	-6.4	-3.9
21	香川町	27.47	17,502	7,818	2,374	22,534	6,296	4,787	15,074	2,670	824.5	26.1	22.7	3.4
22	香南町	14.74	10,208	6,903	1,320	7,281	1,839	1,433	4,552	1,295	494.6	12.9	13.2	-0.3
23	直島町	14.26	6,987	534	940	4,729	1,676	839	3,149	741	331.6	-21.6	-26.4	4.9
24	綾上町	71.37	43,883	11,114	1,702	7,645	1,976	1,228	4,750	1,667	107.0	-11.8	-3.3	-8.5
25	綾南町	38.21	23,750	14,103	2,636	16,966	4,450	3,180	11,028	2,758	441.0	3.7	2.6	1.1
26	国分寺町	26.00	16,842	7,342	2,223	18,233	5,142	3,783	12,275	2,175	694.6	18.0	15.7	2.4
27	綾歌町	27.43	18,207	11,312	1,562	10,349	2,634	1,841	6,588	1,920	381.9	2.9	1.9	1.0
28	飯山町	19.67	14,761	9,398	2,560	15,061	4,088	3,009	10,128	1,924	751.9	8.2	7.6	0.7
29	宇多津町	7.98	5,076	1,581	1,861	12,251	3,940	2,570	8,153	1,528	1,520.0	13.6	6.9	6.7
30	琴南町	83.24	24,093	6,157	706	3,907	1,119	665	2,429	813	47.2	-10.5	-7.2	-3.3
31	満濃町	53.63	32,050	14,016	2,193	13,732	3,556	2,493	8,681	2,558	258.7	-1.0	1.7	-2.8
32	琴平町	8.44	4,587	2,879	1,361	12,721	4,155	2,010	8,111	2,600	1,503.7	-15.6	-13.0	-2.6
33	多度津町	24.35	17,606	8,242	4,521	24,141	7,662	4,374	15,908	3,858	992.6	6.0	5.4	0.6
34	仲南町	58.77	22,060	9,895	1,029	5,250	1,308	925	3,297	1,028	90.3	-7.8	-6.7	-1.1
35	高瀬町	56.29	43,878	25,863	3,543	17,511	4,573	3,022	11,090	3,399	310.7	1.5	1.7	-0.2
36	山本町	33.20	22,030	12,488	1,827	8,107	2,007	1,446	5,072	1,589	243.4	-5.6	-4.9	-0.6
37	三野町	19.23	13,870	9,380	1,894	9,692	2,470	1,796	6,166	1,730	501.4	8.9	8.3	0.6
38	大野原町	49.82	27,089	13,945	2,515	13,360	3,243	2,450	8,376	2,534	258.7	-3.8	-3.9	0.1
39	豊中町	19.83	14,903	9,784	2,524	12,096	3,114	2,137	7,755	2,204	607.5	-7.6	-5.0	-2.6
40	詫間町	31.70	21,910	7,739	3,090	17,600	5,155	3,026	11,444	3,129	568.8	-12.6	-12.6	0.0
41	仁尾町	15.81	11,939	6,134	1,374	7,765	2,154	1,418	4,946	1,401	503.2	-3.3	-0.9	-2.4
42	豊浜町	17.17	8,956	5,018	1,592	9,913	2,967	1,729	6,334	1,850	607.4	-9.9	-7.0	-2.9
43	財田町	47.24	39,044	12,288	1,133	5,050	1,236	831	3,273	946	107.1	-4.6	-6.5	2.0
計		1882.11	1,179,467	472,245	141,883	1,027,672	318,914	191,471	683,125	152,920	552.4	0.6	-1.1	1.7

1) 香川県内5市38町の主要指標(その2)

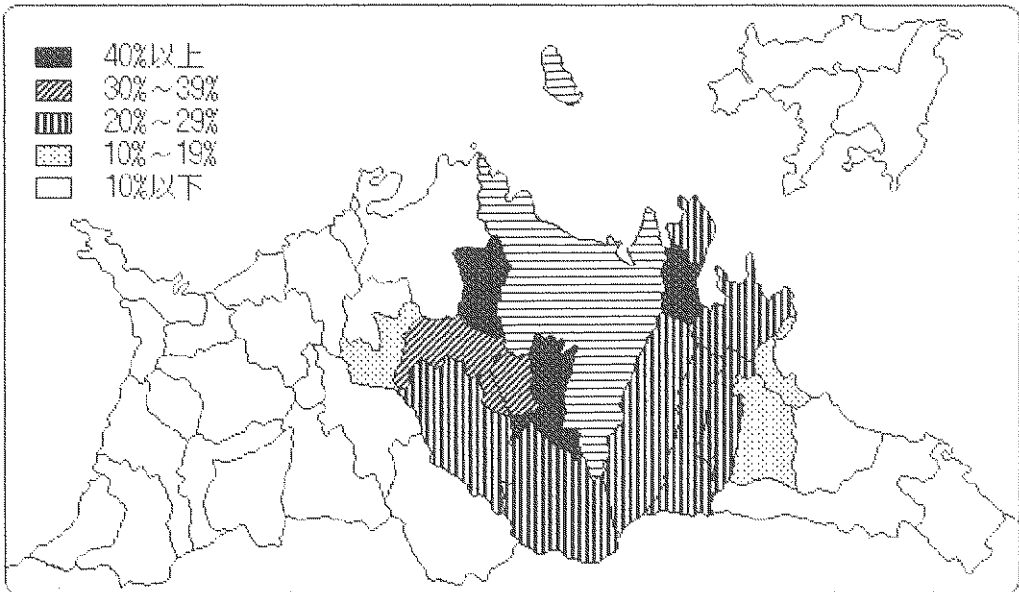
番号	地域	歳入総額 (S.63) (百万円)	市町税 (S.63) (百万円)	地方交付税 (S.63) (百万円)	国庫支出金 (S.63) (百万円)	県支出金 (S.63) (百万円)	地方債 (S.63) (百万円)	歳出総額 (S.63) (百万円)	総務費 (S.63) (百万円)	民生費 (S.63) (百万円)	農林水産業費 (S.63) (百万円)	土木費 (S.63) (百万円)	教育費 (S.63) (百万円)	財政力指数 (S.61 ~S.63)
1	高松市	75,162	47,954	281	7,336	2,248	6,140	73,160	12,034	14,067	2,465	13,544	10,257	1.044
2	丸亀市	23,891	9,070	1,173	1,579	860	737	23,305	2,679	3,833	1,229	6,424	4,040	0.836
3	坂出市	18,540	9,772	443	1,931	1,087	2,212	18,613	1,821	3,417	683	4,312	2,343	1.040
4	善通寺市	9,861	3,048	2,405	1,435	620	351	9,570	1,356	2,146	740	1,517	1,215	0.567
5	観音寺市	11,504	4,769	1,496	1,291	666	660	11,205	1,498	1,899	1,041	2,219	1,693	0.707
6	引田町	2,824	699	936	198	293	25	2,554	394	379	551	294	303	0.418
7	白鳥町	3,516	967	1,045	341	247	264	3,372	532	557	233	607	442	0.454
8	大内町	4,465	1,381	1,130	475	425	382	4,411	588	506	488	906	478	0.529
9	津田町	3,214	656	959	225	244	540	3,118	383	284	238	405	553	0.410
10	大川町	3,067	422	888	375	494	268	3,018	432	244	354	358	400	0.332
11	志度町	5,017	1,830	983	328	708	289	4,720	718	520	379	619	562	0.588
12	寒川町	2,720	336	932	192	425	215	2,425	233	326	233	457	162	0.270
13	長尾町	3,242	826	1,085	135	476	158	3,182	445	339	509	403	439	0.435
14	内海町	4,328	1,252	1,257	192	570	363	4,183	542	327	840	571	543	0.491
15	土庄町	5,286	1,612	1,858	277	435	368	4,828	644	512	531	651	758	0.432
16	池田町	2,189	395	1,005	68	202	233	2,049	398	151	232	181	249	0.287
17	三木町	6,603	1,447	1,618	367	1,502	386	6,261	754	589	514	518	1,147	0.457
18	牟礼町	4,042	1,533	1,029	294	321	252	3,917	586	343	324	1,022	520	0.560
19	庵治町	2,135	713	693	59	145	23	1,958	532	130	175	415	307	0.475
20	塩江町	2,306	261	1,034	86	388	197	2,202	361	234	370	255	138	0.191
21	香川町	6,663	1,365	1,206	134	809	283	6,335	1,642	498	754	436	891	0.500
22	香南町	2,729	525	706	121	583	272	2,653	378	209	514	632	286	0.403
23	直島町	1,975	635	515	87	98	30	1,568	429	108	90	210	333	0.579
24	綾上町	4,149	453	1,252	163	804	490	3,968	722	295	888	495	377	0.260
25	綾南町	3,951	1,132	1,154	174	557	149	3,812	508	425	617	507	584	0.488
26	国分寺町	4,570	1,347	922	286	463	488	4,296	971	539	443	380	740	0.566
27	綾歌町	3,763	645	847	170	442	17	3,522	667	292	539	393	255	0.402
28	飯山町	3,306	993	939	82	208	512	3,088	438	379	282	970	324	0.482
29	宇多津町	4,588	1,306	667	520	543	834	4,468	854	358	226	1,805	309	0.667
30	琴南町	2,288	164	936	115	416	164	2,188	327	277	542	271	156	0.165
31	満濃町	3,400	785	1,165	187	568	179	3,123	356	335	703	293	538	0.386
32	琴平町	2,863	1,177	717	170	145	92	2,755	397	440	156	302	477	0.610
33	多度津町	7,070	2,711	737	288	310	272	6,819	2,523	622	491	779	1,147	0.822
34	仲南町	2,546	296	882	217	322	246	2,313	250	124	719	179	412	0.275
35	高瀬町	5,050	1,213	1,305	258	733	244	4,827	877	378	1,324	421	512	0.473
36	山本町	2,302	497	944	130	200	167	2,203	406	176	325	174	475	0.344
37	三野町	2,112	605	893	83	189	29	1,995	352	199	262	110	275	0.379
38	大野原町	4,313	875	1,086	368	725	336	4,163	425	644	1,074	711	497	0.439
39	豊中町	4,541	907	929	114	199	99	4,429	607	287	310	1,919	621	0.554
40	詫間町	4,692	1,495	1,312	364	567	345	4,643	733	405	504	714	662	0.507
41	仁尾町	2,694	475	947	116	222	192	2,642	596	215	266	334	455	0.340
42	豊浜町	2,322	835	685	171	143	176	2,216	307	192	207	267	294	0.523
43	財田町	1,937	312	781	94	132	343	1,912	329	116	256	139	608	0.310
計		277,736	109,691	43,777	21,596	21,734	20,022	267,989	42,024	38,316	23,621	48,119	37,777	0.488

2) 香川県内主要3市の人口数の変化と人口増減率の推移

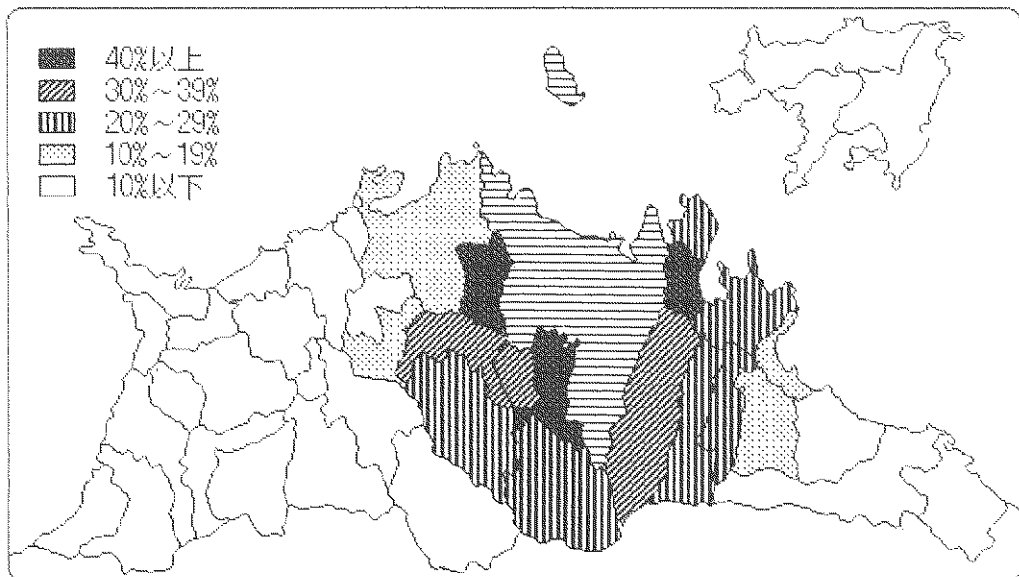


3) 高松市への市町別就業者人口流出比率

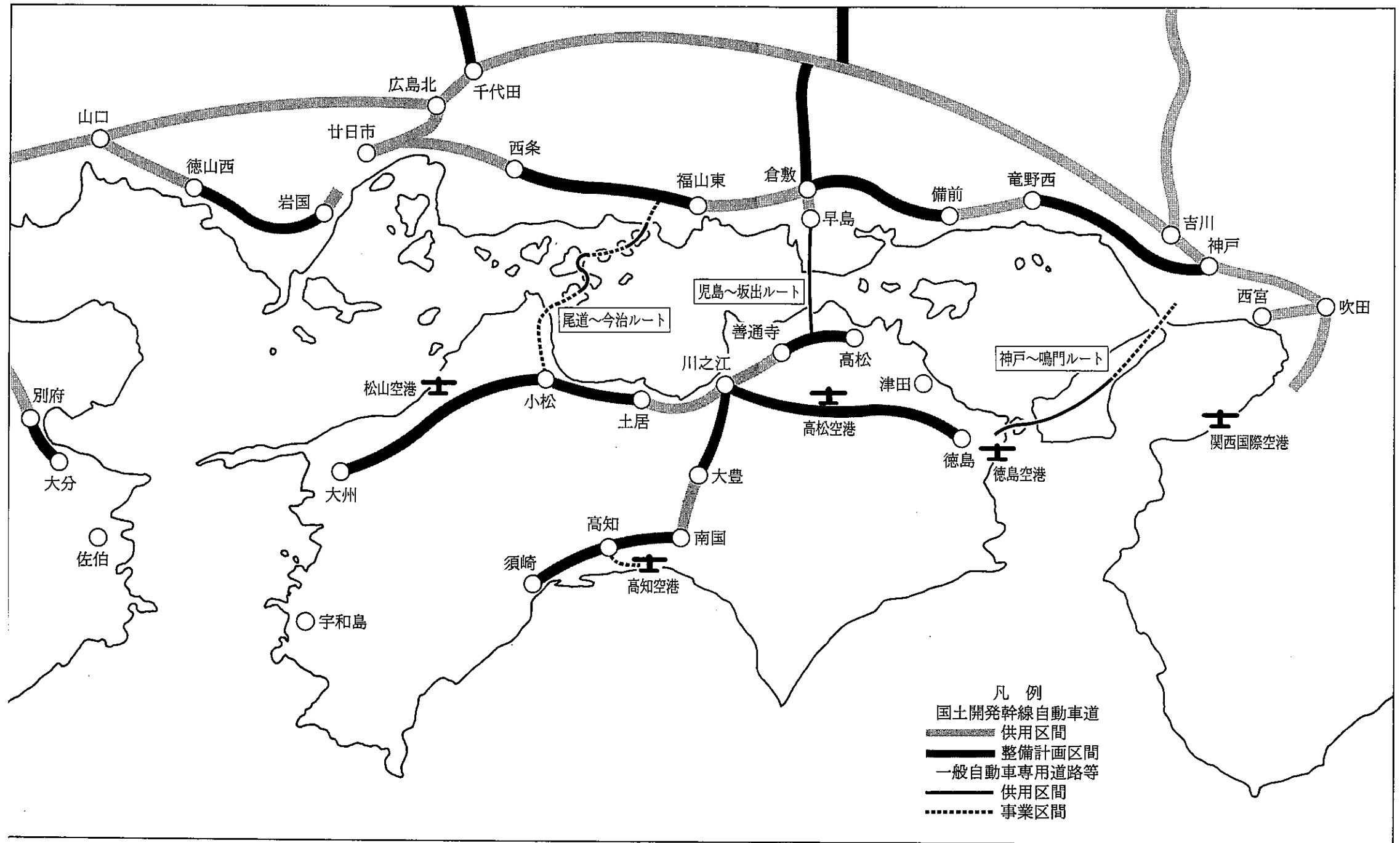
第 1 図 (昭和50年)



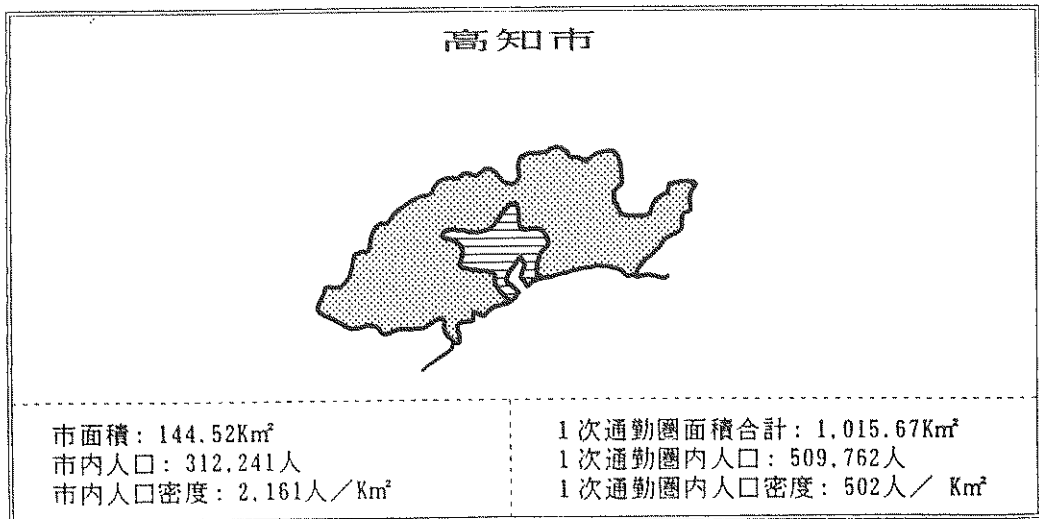
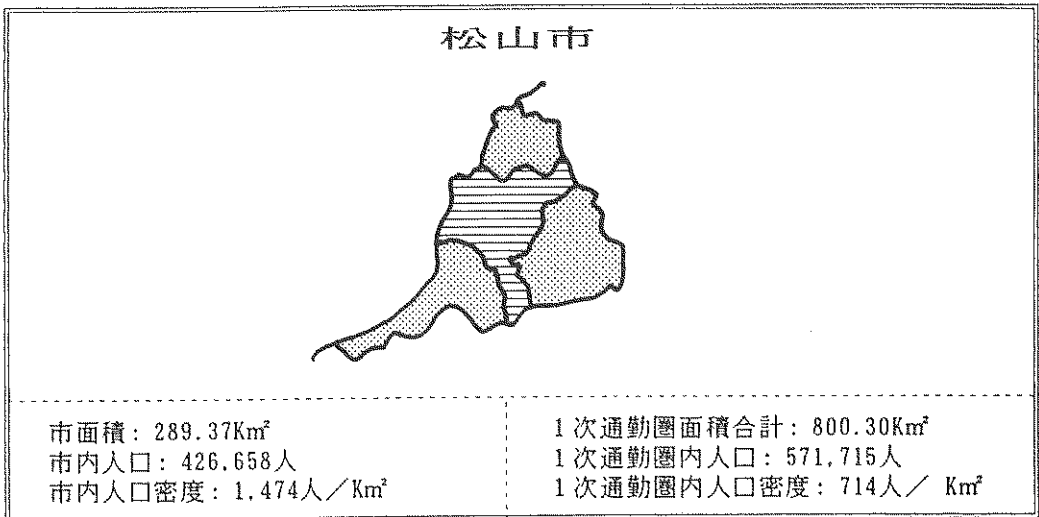
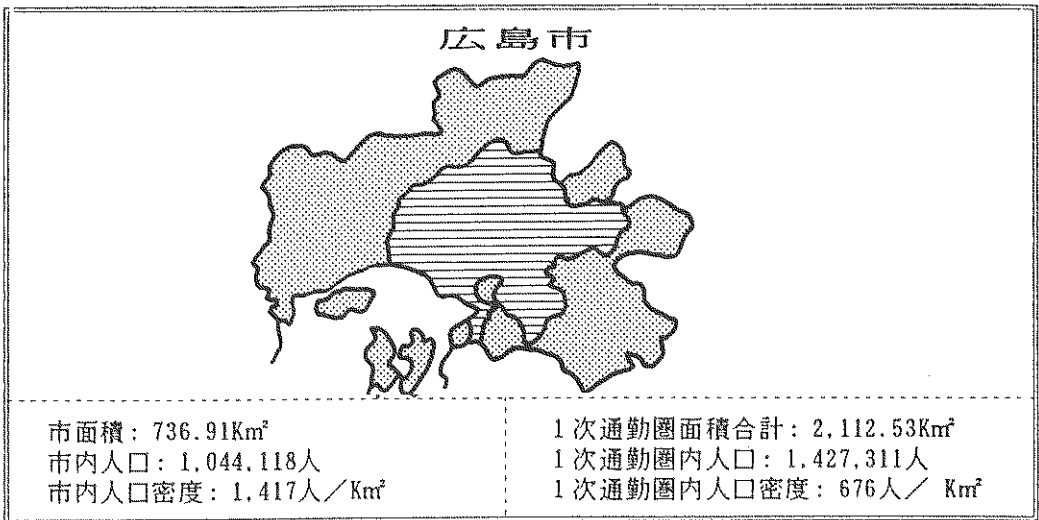
第 2 図 (昭和60年)



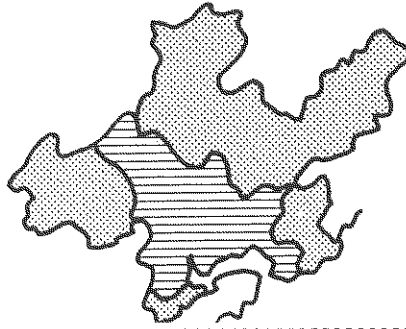
4) 四国の交通基盤整備の概要



5) 四国および中国地方における都市規模の比較



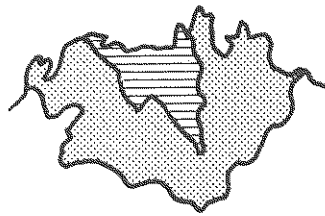
岡山市



市面積：510.72Km²
市内人口：572,479人
市内人口密度：1,121人/Km²

1次通勤圏面積合計：1,294.46Km²
1次通勤圏内人口：729,545人
1次通勤圏内人口密度：564人/Km²

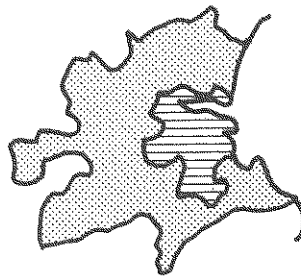
高松市



市面積：194.94Km²
市内人口：326,999人
市内人口密度：1,677人/Km²

1次通勤圏面積合計：839.18Km²
1次通勤圏内人口：585,275人
1次通勤圏内人口密度：697人/Km²

徳島市



市面積：188.14Km²
市内人口：257,884人
市内人口密度：1,369人/Km²

1次通勤圏面積合計：859.31Km²
1次通勤圏内人口：568,698人
1次通勤圏内人口密度：662人/Km²

6) 香川県内における主要都市開発のプロジェクト

計 画 名	面 積	概 要
高松港頭地区開発	40ha	港湾の整備およびホテル、コンベンション施設、インテリジェント、商業施設等を建設し、新生高松を海の都として活性化しようとする計画。新都市拠点事業として平成2年度予算採択。
高松ポートルネッサンス21 (高松港玉藻地区 再開発計画)	—	宇高連絡船廃止に対応して、玉藻地区の再開発を行い、旅客ターミナル施設、港湾業務用施設等からなる新しい四国の玄関としてふさわしい港湾空間の形成を図る。
琴電瓦町駅前再開発	13ha	琴電瓦町駅に駅ビルを建設、将来的には東西道路貫通、立体交差化を行い、駅東西の交通分断を解消する。
琴電片原町駅周辺地 再開発	2.5ha	琴電の軌道を中心に街区編成し、百貨店、シティホテルを核施設として建設する。駅西地区1.5haにつき、準備組合設立済み。
高松市太田第2土地区画 整理事業	360ha	高松市南東部に位置し、市内外への交通網の要でもある同地区を区画整理し、快適で生活利便性の高いサービスを備えた都市づくりを図る。
坂出市シェイプアップ マイタウン計画	140ha	JR坂出駅を中心とした市街地を鉄道高架、市街地再開発、ウォーターフロント整備等により、四国の玄関口にふさわしい街に整備する。
新 宇 多 津 都 市	186ha	中讃地区の中核都市として、計画人口9千人、住宅地30ha および商工業・物流基地を含む総合都市を建設する。地域振興整備公団事業。
丸 亀 駅 前 再 開 発	1.8ha	JR丸亀駅高架化に伴う再開発で、民間事業をA～Eの5地区に分けて計画。南北駅前広場および地下駐車場を丸亀市が整備。
観音寺駅周辺開発構想	1.2ha	JR観音寺駅舎の橋上化を図り、南北を結ぶ自由通路や駅前広場を整備するとともに、現駅舎の東側に新たに商業機能を備えた駅ビルを建設。

資料) 日本開発銀行高松市店、『変貌する四国経済—四国新時代に向けて—』による。

7) 香川経済同友会「広域行政特別委員会」の委員名簿

(○印は小委員会委員)

[代表幹事]	多田野康雄 丸山 修	(株)タダノ 代表取締役会長 南海プライウッド(株) 代表取締役社長
[委員長]	○児島 和希	四国旅客鉄道(株) 代表取締役専務
[副委員長]	○前川 雅一	四国電力(株)高松支店 支店長
[幹事]	石井 恒男	(株)第一勧業銀行高松支店 支店長
	大橋 光政	光建材(株) 代表取締役社長
	○鎌田 郁雄	太洋物産(株) 代表取締役社長
	河辺 康雄	河辺建設工業(株) 代表取締役社長
	後藤 伸雄	後藤設備工業(株) 代表取締役社長
	菅 善明	(株)菅組 代表取締役
	○高戸 紀幸	(株)タダノ 取締役社長室長
	西川 平二	丸亀被服(株) 代表取締役社長
	西村 健吾	(株)三和銀行高松支店 支店長
	○榎塚 正福	(有) マキ産業 専務取締役
	松本 清次	(株)高松国際ホテル 代表取締役専務
	森田 紘一	(株)合田工務店 代表取締役社長
[委員]	藍川 保一	ラモナー(株) 代表取締役
	秋山 憲夫	(株)秋山組 代表取締役
	浅原 直	アサヒビール(株)四国支店 支店長
	雨海 宏明	三菱信託銀行(株)高松支店 支店長
	○飯田 修	日本鋼管(株)四国支店 支店長
	○今條 孝	(株)ナンカイ 代表取締役社長
	上杉 義隆	(株)丸亀給食センター 代表取締役
	金谷庚午郎	四国貯蓄信用組合 理事長
	十川 忍	常盤染工(株) 代表取締役専務
	森山 光春	ユニバーサル証券(株)高松支店 支店長
	○河沢 忠彦	石川島播磨重工業(株)四国支社 支社長
[事務局]	石丸 尚志	香川経済同友会 常任幹事事務局長
	小亀 修	香川経済同友会 調査第一課長

本格架橋時代における都市政策
『グレーター高松』構想の提唱
一県都50万都市を目指して一

平成 3 年 1 月 30 日発行

発行 香川経済同友会

常任幹事 石丸 尚 志
事務局長

〒760 高松市丸の内 2 番 5 号
ヨンデビル別館 3 階
TEL 0878-21-8754
FAX 0878-23-1160

香川経済同友会提言 No.1